

* 竹田市感染症情報(竹田市独自集計) *

令和7年第28週 (7月7日～7月13日)



ヘルパンギーナが増加しました

今週の竹田市調査医療機関からの報告数は4名と、先週の1名から増加しました。大分県全体では定点あたり5.61人と、先週の定点あたり5.78人からやや少なくなりましたが、大分市など定点あたり8.00人以上となっているところもあります。

発症すると、突然の高熱(39.0℃以上)やのどの奥の周りに小さな水疱や潰瘍がみられます。強いのどの痛みがあり、食事や水分摂取が困難になることもあります。食事は、刺激がなく軟らかいもの、塩味や酸味の弱いもの、熱くないものを食べられるときに少しずつあげましょう。

予防には、手洗い・うがいを心がけること、タオルの共用を避けること、おもちゃやドアノブを定期的に洗浄・消毒することが大切です。また、便中にウイルスが含まれ、治った後もしばらく排出されるため、おむつ交換や排便後はしっかり手洗いをしましょう。

新型コロナウイルス感染症が増加しました

今週の竹田市調査医療機関からの報告は7名となり、先週の1名から増加しました。特に成人の感染者が増えているようです。

また、インフルエンザA型も1名報告がありました。新型コロナウイルス感染症もインフルエンザも、発熱、咳、のどの痛み、倦怠感、筋肉痛、鼻づまり、吐き気など症状が似ているため、検査しなければ区別が付きません。さらに、両疾患とも、飛沫感染と接触感染が感染経路となるため、予防のポイントは共通しています。

〈共通する予防のポイント〉

- ・手洗い・手指消毒を行い、咳エチケットに気をつける
- ・換気を行う
- ・体調不良時の外出は控える

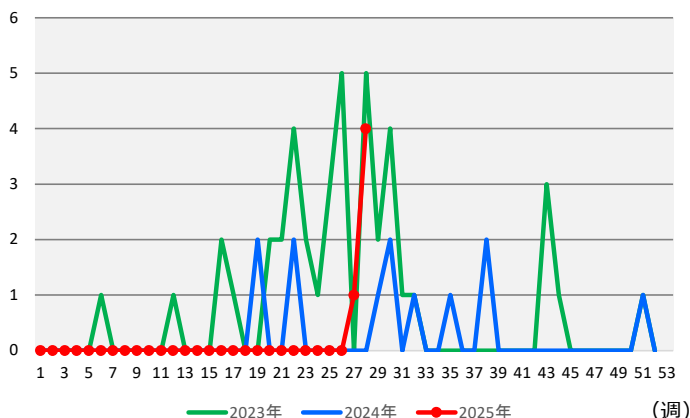


(第28週)

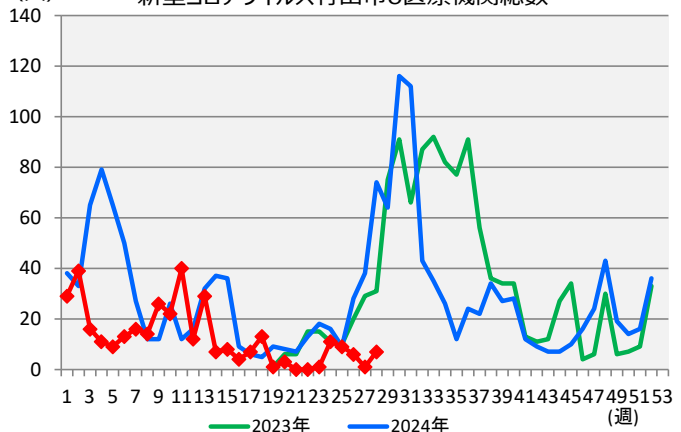
(調査医療機関8か所の総患者数)

疾患名 年齢	インフルエンザ			新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱(プール熱)	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘(みずぼうそう)	手足口病	伝染性紅斑(リンゴ病)	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	マイコプラズマ肺炎	麻しん(全数報告)	風しん(全数報告)	百日咳(全数報告)	つつが虫病(全数報告)
	A型	B型	不明																
0歳																			
1～3歳							1	1			2		2						
4～6歳													2						
7～9歳																			
10～14歳								1											
15～19歳				1				1											
20歳以上	1			6				1											
今週	1			7			1	4			2		4						
		1																	
70歳以上(再掲)				2															
先週				1				1			2		1						

(人) ヘルパンギーナ竹田市8医療機関総数



(人) 新型コロナウイルス竹田市8医療機関総数



でんせんせいこうはん

伝染性紅斑

両頬に赤い発しん（紅斑）が出ることから「リンゴ病」とも呼ばれる小児に多い感染症です。



10～20日の潜伏期間の後
微熱・かぜに似た症状

この時期にウイルスの排出が最も多くなります。



こんな症状がみられます

ほっぺたがリンゴのように
赤くなります（紅斑）

発しんが現れたときにはウイルスの排出はほとんどなく、感染力もほぼ消失しています。発しんは1週間程度で消失しますが、中には長引いたり、一度消えた発しんが短期間のうちに再び出現したりすることがあります。

予防と対策

手洗い、マスク着用など



基本的な感染症対策を心がけましょう！

伝染性紅斑の主な感染経路は、「飛まつ感染」と「接触感染」です。こどもを感染から守るため、周囲の人にも基本的な感染症対策を心がけましょう。

妊娠中又は妊娠の可能性がある方へ

これまで伝染性紅斑に感染したことがない女性が妊娠中に感染した場合、胎児にも感染し、胎児水腫などの重篤な状態や、流産のリスクとなる可能性があります。熱や倦怠感が出現した後に発しんが出るなど、伝染性紅斑を疑う症状がある場合は、医療機関に相談しましょう。また、感染しても症状がないこと（不顕性感染）もあるため、周囲に伝染性紅斑の人がいる場合は、妊婦健診の際に、医師に伝えてください。



詳しくは、厚生労働省ホームページをご覧ください

 厚生労働省

感染症対策課 2025年5月作成

